

実施日：11 月 24 日（6 校時）	
領 域：各教科	
取組名：漢字の筆使い② はねと点「小」（資料『小学書写』（日本文教出版））	
対 象：3 年生	実施場所：教室
ア ねらい （国語） 筆圧の強弱と筆使いに気をつけて、はねと点を書く。 （人権） 「ほほえみ」の人権推進項目（4－（1）－ア）学習者の権利と責任の重視 学習者の興味・関心を引き出す。人と比べて上手下手ではなく、その 1 時間で上達すること、またそれを児童自身が実感できることを目指す。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 ※詳細は学習指導案参照 1. 導入（5 分） 「小」の練習をする。 2. 展開（25 分） 練習と手本を比べる。 ◇筆を立てること、ゆっくりと送筆するように声をかける。 教科書に書かれていることを確認する。 ◇以下の点について確認する。 ・はらいと点の区別 ・たて画が紙面の中心を通る ◇教科書で朱色の部分をほ先が通ることを確認する。 ◇ほ先の通り道を確認しながらなぞるように声かけをする。 ◇途中で点の練習をさせる。 ◇児童が書いた作品を使って指導する。 3. 展開（20 分） まとめ書きをする。 一児童それぞれの作品について、またその作品づくりの様子を見取ってしっかりと褒める。どの作品にもよいところは必ずある。 ◇声を出さずに取り組むようにさせる。	

4. 終末（5分）
学習をふりかえる。

◇本時の学習をふりかえる。本時で学習した内容を鉛筆書きでも試してほしい旨を伝える。

ウ 連携先：全職員

エ 連携にむけての取組
・公開授業として指導案の配布、自由参観とする。

オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点
・授業前に授業の流れとねらいについて、授業者から学級担任に説明を行う。
・授業後に推進教員と学級担任で振り返りを行う。

カ 評価の方法
・児童の作品
・児童の授業中の態度

キ 成果
・興味関心を持って、書写学習に取り組むことができた。今後も児童それぞれががんばったところを褒めることを大事にして、学習をすすめていきたい。
・基本的な筆づかいについて理解し、それを作品づくりに生かそうとしていた。

ク 課題
・姿勢や筆の持ち方について、授業の始めに確認しないと、間違った姿勢や持ち方で書き始めてしまう子が多い。繰り返し声掛けをして練習することで、身につけさせたい。

（ビデオを見て）

・話している内容は簡潔に話せているが、板書の字が少し小さい。黒板の広さを有効に使いたい。また、学習者の視点で授業の振り返りを行うようにしていきたい。